

# 2021 年度 事業計画

---

女性の自立と自活



学校法人 共立女子学園

## [目 次]

1. 2021年度 事業計画について .....	1
I. 共立女子大学・短期大学 .....	1
I-1. 学生確保 .....	1
I-2. 教育の質 .....	3
I-3. 学生生活 .....	6
I-4. 学修支援・授業支援 .....	8
I-5. 就業力 .....	9
I-6. 地域連携 .....	11
I-7. 教学マネジメント .....	13
II. 共立女子中学高等学校 .....	15
II-1. 生徒確保 .....	15
II-2. 教育の質 .....	16
II-3. 教育力 .....	18
II-4. 進路 .....	19
II-5. 管理運営 .....	20
III. 共立女子第二中学校高等学校 .....	21
III-1. 生徒確保 .....	21
III-2. 教育の質 .....	22
III-3. 教育力 .....	23
III-4. 進路 .....	24
III-5. 管理運営 .....	26
IV. 共立大日坂幼稚園 .....	27
IV-1. 園児確保 .....	27
IV-2. 教育の質 .....	28
IV-3. 教育力 .....	28
IV-4. 保護者との連携・協力 .....	29
IV-5. 管理運営 .....	29
V. 共立女子学園 .....	30
V-1. 財政 .....	30
V-2. 人事 .....	31
V-3. 施設設備 .....	33
V-4. 桜友会・後援会・地域等との連携 .....	34
2. 2021年度予算の概要 .....	35
(1) 2021年度予算編成方針 .....	35
(2) 資金収支予算(表1) .....	35
(3) 事業活動収支予算(表2) .....	35
(4) 中期計画予算(表3) .....	35

# 1. 2021 年度 事業計画について

※2021 年度事業計画より、第二期中期計画期間(2018 年度～2022 年度)に達成すべき評価指標を既に達成した計画については、2021 年度の到達目標の欄に「評価指標達成済み」と記載している。

## I. 共立女子大学・短期大学

### 中期計画に掲げる 5 年間の目標と評価指標

#### I-1. 学生確保

##### 目標

アドミッション・ポリシーに則して、戦略的な広報や入試制度改革等を通じて、志願者を増加させる。

主となる委員会・会議 全学アドミッション委員会 全学広報委員会	主となる事務局 入試課、大学企画課
---------------------------------------	----------------------

### 2021 年度 事業計画

【評価指標①】 共立女子大学・短期大学について、入学定員を確保する。

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標達成済み。</li> <li>引き続き適正に入学定員を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試制度ごとに入学定員数管理を徹底する。</li> <li>全学部・科に公募制推薦入試を導入し、指定校制推薦入試と合わせて、共立女子大学・短期大学を第一志望の割合を高める。</li> </ul>

【評価指標②】 一般入試の延べ志願者数で、共立女子大学は 7,000 人以上、共立女子短期大学は 600 人以上を目標にする。

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2022 年度の一般入試の延べ志願者数で、共立女子大学は 7,000 人以上、共立女子短期大学は 600 人以上を目標にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、デジタル広報を強化する。なお、対面接触も極力機会を減らさずに、オープンキャンパスを年間 7 回実施する。</li> <li>高校生の進学先検討の早期化も踏まえ、高校 1・2 年生に対する新規施策としてスタートガイド(冊子、WEB)を制作し、受験生への早期接触を図る。</li> <li>教員・学生ヒアリングを通じて、本学の PR ポイントを明確にする。</li> <li>訪問高校数を増加(2020 年度対比 110%)する。入学の高い潜在層となる高校に新規アプローチを行うとともに、進学先検討の早期化を踏まえ、訪問時期 5 月からとする。</li> </ul>

【評価指標③】 2021 年度入試からの新基準に沿った新入試制度を実施する。

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2023 年度入試制度を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試制度の趣旨と入学後の成績等との相関関係を分析し、入試制度の妥当性を検証し、入試制度の見直しをする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領で実施する 2025 年度入試に向け、本学の入試方針を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領の情報を整理し、新学習指導要領と現行入試制度との対応関係を整理する。</li> </ul>

【評価指標④】 アドミッション・オフィサー(専任職員)が、入試・学生募集に参画する。

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標達成済み。</li> <li>すべての学部・科の総合型選抜の面接で、教員ないし職員のアドミッション・オフィサーが参画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドミッションオフィサー(専任教職員)が入試制度を検証し、多面的・総合的な評価を導入した入試制度を構築する。</li> </ul>

**【評価指標⑤】** 入学者選抜において、多面的・総合的に評価を行う組織（アドミッション・オフィス）の設置を検討する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標達成済み。</li> <li>・入試選抜において、適切に多面的・総合的な評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年4月から設置される入試開発検討会で入学者選抜における多面的・総合的な評価について調査・研究および企画・開発を行う。</li> </ul>

**【評価指標⑥】** 併設校との連携を強化し併設校からの入学率の増加を目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度入学率を、2020年度の入学率（中学高等学校：18.5%、第二高等学校：49.7%）より増加させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導教員と連携しながら説明会、講演会、オープンキャンパスへの参加およびKWU 高大連携プログラムへの積極的受講を促す。</li> </ul>

**【評価指標⑦】** 共立女子大学大学院について、入学定員の確保を目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度入学生について、2020年度入学者実績16名よりも増加させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度学生募集活動を検証し、学内説明会などの学内広報を充実する。また、内部、外部に開放したWEB教員相談の機会を設定する。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### I-2. 教育の質

#### 目標

カリキュラム・ポリシーやディプロマ・ポリシーに則して、十分な教育上の成果を上げるための教育内容と方法を整備・充実させ、学生の付加価値を最大化させる。

主となる委員会・会議  
 全学教学改革推進委員会  
 全学FD委員会

主となる事務局  
 大学企画課、教務課、教育学術  
 推進課

### 2021年度 事業計画

#### (1) 【教育組織】

【評価指標①】2020年4月にビジネス学部（仮称）を新設する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標達成済み。</li> <li>引き続き適正に設置計画を実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス学部、全学教育推進センターおよび事務局が連携し、学修効果をより高めるための講習会を開催するなど、授業形態に合わせた授業支援・学修支援を行なう。</li> </ul>

#### (2) 【教育内容】

【評価指標①】既設学部・科の教育課程の変更を行い、カリキュラム・ポリシーやディプロマ・ポリシーに則して、体系的・構造的な教育課程を編成する。合わせて、学修成果の検証サイクルを確立する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の体系的・構造的な必修・選択区分の適切性に関わる課題を明確化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラムツリー、カリキュラムマップ、履修系統図、科目ナンバリングの4点を各学部・科で作成し、それに基づき教育課程の点検・評価を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン授業（オンデマンド授業）や100分授業の運用について、点検・評価に基づき改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートや成績評価等のデータなど、効果測定が可能なデータを整理する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の適切性についての評価基準を定める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学修度、授業評価アンケート、卒業年次生アンケート含むIR情報を確認し、指標になる情報を取りまとめる。</li> </ul>

【評価指標②】グローバル社会で必要となる英語によるコミュニケーション能力を高めるために、体系的・構造的な教育課程を編成する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>英語コミュニケーション能力を向上させる教育課程・教育プログラムを策定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育の課題を明らかにするとともに、目指すべき姿を設定する。また、正課外活動との連動についての案をまとめる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>教養教育科目「英語A」「英語B」の課題を明らかにし、改善策を立案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学修成果の測定や運用上の課題を確認する。また、業務委託の妥当性を検証できるデータを取りまとめる。</li> </ul>

**【評価指標③】教育課程の変更にあわせ、2020年度までに文芸学部のコースの見直しを行う。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標達成済み。</li> <li>・引き続き新カリキュラムを円滑に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度からの新カリキュラムの点検・評価を行い、階梯性を踏まえた履修モデルを作成する。</li> <li>・受験生に対して新たな広報媒体を作成してオープンキャンパスで配信・配付する。</li> </ul>

**【評価指標④】教育課程の変更にあわせ、国際学部のコースの適切性、GSEプログラムの点検・評価を行い、充実方策を実施する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として英語特別演習Ⅴを全員が3年次に履修する。また、国際専門演習および英語特別演習Ⅴ (Academic Writing) の成績がB以上の割合を80%以上とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語特別演習Ⅴを国際専門演習と連動させるとともに、GSEプログラムの全受講者がTOEIC Writing 試験を受験し、結果の点検・評価を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次GSEプログラムの定員は80名とし、3・4年次時点での継続率を概ね50% (40名程度) とする。新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえながら、2021年度後期以降、GSE参加学生の留学率の可能な限り速やかな回復を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン海外短期研修を創設して、新型コロナウイルス感染症への対応の一助として検討する。</li> <li>・2年次GSE参加学生が83名で、3年次への継続率が近年6割近いことから教育の質の向上の観点から対応を検討する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全参加者が英語での卒業研究を提出し、80%以上がB以上の成績とする。TOEIC Writing 試験受験者の9段階中の7 (海外出張レベル) 以上の割合を50%以上とする。2-3年次のGSEプログラム参加者のTOEIC試験受験率を、基準年度の2019年度と比較して10%以上向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GSEプログラムの方針や総合的な評価方法のあり方について審議する</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、GSEの国内留学的側面を強調するなどの高校生への情報発信を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・70%以上の回答者が非常に満足または概ね満足になることを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・English-Speaking TAについては、コロナ禍を踏まえつつ、可能な限り後期から再開する。GSE学修カウンセリングその他の学修支援を継続する。</li> </ul>

**【評価指標⑤】看護学部について、2019年度に保健師養成課程を導入する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標達成済み。</li> <li>・引き続き保健師養成課程カリキュラムを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師課程科目を履修する学生の負担に目を配り、学修支援を行なう。</li> <li>・2022年度の実習受け入れ申請を確実にこなす。</li> <li>・保健師課程学生の就職支援として、2022年度の支援計画を立案する。</li> <li>・保健師課程学生の国家試験対策として、2022年度の支援計画を立案する。</li> </ul>

**【評価指標⑥】学生の精神的自立・職業的自立・社会的自立の基盤となる能力を養成するために、2020年度に新しい教養教育の教育課程を編成する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標達成済み。</li> <li>・引き続き新カリキュラムを円滑に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リテラシーレベルの数理・AI・データサイエンスのモデルカリキュラムを作成する。</li> <li>・「Major in Anything. Minor in Leadership.」の狙いと要件を学生に周知するとともに、授業運営について、事務局で適切な支援を行う。</li> </ul>

**【評価指標⑦】教育課程の変更にあたり、授業科目の精選・科目選択の幅の見直しを行う。既設学部・科の専門科目のコマ数を2017年度比で300コマ削減する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既設学部・科の専門科目のコマ数を2017年度比で300コマ削減する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家政学部 823.1 コマ、文芸学部 560.7 コマ、国際学部 514.8 コマ、看護学部 306.8 コマ、生活科学科 108.9 コマ、文科 140.4 コマを上限とした2022年度基準コマ数を設定する。</li> </ul>

**【評価指標⑧】 KWU ビジョンの達成を目指し、学外組織との連携による課題解決型アクティブ・ラーニング授業を全学生に提供する。**

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標達成済み。</li> <li>・教養教育科目の「協働とリーダーシップコア」科目の趣旨を踏まえ、課題解決型アクティブ・ラーニング授業を全学生に提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養教育科目：協働とリーダーシップコア科目群で定めた目標を達成するため、全学教育推進センターと事務局が協働し、適切に授業支援・学修支援を行う。</li> <li>・教養教育科目「ワークショップファシリテーション」におけるラーニング・アシスタントの体制を構築し、「教養総合ワークショップA」「教養総合ワークショップB」の両科目にラーニング・アシスタントを配置する。</li> </ul>

**(3) 【教育方法・学修成果】**

**【評価指標①】 学生の卒業時の学修成果の質を保証するための仕組みを整備する。特に、学生ポートフォリオの導入と GPA の活用は必須の検討項目とする。**

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学位授与にあたり、ディプロマ・サプリメントを授与する。また、全学生がディプロマ・サプリメントの意味を理解し、説明できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディプロマ・サプリメントを発行するためのシステム整備をするとともに、内容を学生に周知する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021 年度カリキュラムに対する学修度の可視化を行い、利活用方法について検討し、学生・教職員に周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021 年度カリキュラムに対するカリキュラムチェック表の作成と学修ポートフォリオへの反映を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA について、具体的に進級判定に用いることを検討する。</li> <li>・同一科目複数クラス授業における運用の平準化を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA を進級判定に用いるメリット、デメリットを整理する。</li> <li>・同一科目複数クラス授業における、授業設計・授業実施方法・課題の提示方法・成績評価の方法等の運用事例を学内外より収集し、具体的な運用事例を「同一科目複数クラス授業の運用ガイドライン」として作成し、該当科目における導入・活用を提案する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前教育の内容を更新する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前教育の有益性に関する調査・分析を行い、それに基づく、見直し案をまとめる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在設定している各科目の「到達目標」「単位修得目標」の適切性についての検証を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムツリー、カリキュラムマップ、履修系統図、科目ナンバリング、成績や授業評価アンケート等の情報を整理する。</li> </ul>

**【評価指標②】 学修成果の可視化や成績評価の標準化の観点から、専任教員の担当科目の 50% 以上においてルーブリックを導入することを目指す。**

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員数の半数（86 名/172 名）が、1 科目以上でルーブリックを使用する。（2020 年度ルーブリック使用実績：33.7%（58 名/172 名））</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーブリックの導入や活用のために有効な知見を全学に周知する。</li> <li>・ルーブリックの適切な運用について点検・評価し、必要に応じて、学部・科および全学共通教育委員会に改善の案を提示する。</li> </ul>

**【評価指標③】 教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催等により、FD 活動の活性化を図る。また、全教員の FD 活動の参加を目指す。**

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な FD 活動の活性化を図り、全教員が FD 活動に参加することを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員全員がティーチング・ポートフォリオをもとに、授業改善の PDCA サイクルを回す。</li> <li>・教員と全学教育推進センターで授業設計・実施で困っている点を中心に意見交換を行い、共通認識を持つ。また、学内で蓄積してきた様々な情報を提供・活用して、教育活動の発展に向けての支援を行う。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### I-3. 学生生活

#### 目標

充実した学生生活を支援し、学生の資質・能力を向上させる。

主となる委員会・会議

全学学生委員会

共立女子大学・短期大学国際交流委員会

主となる事務局

学生支援課

### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】** 学生が孤立して学生生活を送ることのないよう、コミュニティ形成に関わる支援を行い、自身のことを気軽に相談できる関係の人がいる学生の割合を98%以上に向上させることを目指す。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>1年修了時に自身のことを気軽に相談できる関係の人がいる学生の割合を98%にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生指導・相談ガイドラインに沿って支援を行い、関係性の向上を図る。また、kyonetに学生支援状況の入力を徹底するとともに、オンラインも適切に活用する。</li> <li>共立 Stand Up! プロジェクトおよびランチセミナーを各5件企画・立案し、学生と教職員との関係性の向上を図る。</li> </ul>

**【評価指標②】** 学生が学修に専念し、継続することができるよう、給付型奨学金の拡充を図る。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>国の奨学金制度の全体像を捉えて、学生の資質、能力向上を支援するための本学独自の奨学金を制定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポーターズ募金等の寄付金を原資とする奨学金として、ビジネス学部編入生支援、国の支給型奨学金の対象外となる学生の支援、成績優秀者支援、正課外活動支援などの制度について、企画・立案し、優先順位により制定を進める。</li> </ul>

**【評価指標③】** 学生が心身の健康を維持し、学修を継続することができるよう、フィジカルヘルスおよびメンタルヘルスに関わる相談体制の充実を図る。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の希望や状況に合わせた面談の環境を作り、迅速な相談受付につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学生の健康診断を適切に済ませ、保健室・校医面談の基準に基づき学生と面談する。なお、対面だけでなくオンラインも併用する。</li> <li>相談件数と相談内容を分析し、相談体制等を見直す。</li> <li>月1回のコンサルテーションを受け、適切な学生対応につなげる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の心身の健康に対する意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランチセミナー、オンライン講座、「保健室だより」を通じて、保健室からの情報を4回以上発信する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学生支援スキルの向上のための教職員対象研修会への出席者数、80人を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面のほか、オンラインを取り入れ、参加しやすい環境を整え、教職員の学生支援スキルを養う。</li> </ul>

**【評価指標④】** 健康な学生生活を送るために欠かせない食の提供を充実し、学生食堂・売店の満足度を80%以上に向上させることを目指す。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業年次生アンケートにおける学生食堂・売店の満足度を80%にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2号館食堂業者と新たな契約を結び、経営環境を整え、学生の食環境の安定に繋げる。更に2020年度に開始した食堂運営補助による営業状況を毎月確認し、環境維持に努める。</li> <li>コロナ禍における食堂始めラウンジの喫食環境を整え、必要に応じ巡回、掲示等で安全を維持する。</li> </ul>

**【評価指標⑤】長期型・短期型、国内型・国外型を問わず、グローバル化に対応した教育（留学）プログラムの支援を充実し、参加者数を10%以上に増加させることを目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響を受け海外派遣が困難な中、オンラインを始めとしたグローバル企画への参加者を全学生の7%以上にすることを旨す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生数増加につながる長期計画を作成するため、同規模大学調査、教員からの意見をまとめ、素案を作成する。</li> <li>・留学する為のモデルプランを学生へ示し、入学時から留学に対する意識を高める。</li> <li>・留学に対する理解を促進させる為、留学に関連する説明会を引き続き実施し、留学予定者向け危機管理セミナーも開催する。危機管理に対する意識を啓発し、安全に渡航出来る環境を整える。</li> <li>・学生が参加可能な夏休み・春休み期間中に実施可能なオンラインプログラムを計画し実施する。</li> <li>・協定校、提携校開拓のため、現地大学との情報交換を教員と協力して実施し、新たな留学先を模索し共立女子大学・短期大学国際交流員会へ諮る。</li> </ul>

**【評価指標⑥】外国人留学生と日本人の在学生在が外国語で交流する機会の増加を図る。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生と学生が外国語で交流する機会を年間5回開催し、オンラインにより実施する。延べ50人の参加者数を旨す。トークルームはオンラインでの実施を継続し、2020年度を上回る参加者数94名(2020年10月時点中国語25名、フランス語23名、韓国語23名)を旨す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生と日本人学生から、話したいトピックを事前に確認し、トークルーム実施内容の企画を留学生と共に立案する。</li> </ul>

**【評価指標⑦】正課外教育の支援の充実により、多様な学びの機会を提供し、正課外教育に対する学生満足度を90%以上に向上させることを旨す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業年次生アンケートにおける共立アカデミーの学生満足度を90%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面講座とオンライン（オンデマンド型）講座の併用を進める。</li> <li>・公式Twitterや文部科学省の「マナパス」活用による情報発信等を進める。</li> <li>・専任教員によるオンデマンド型の講座を増やし、将来的にアーカイブ化して広く社会一般の利用に供することができる体制を整える。</li> <li>・オンライン（オンデマンド型）での開講を前提として、学部構成等の特色を生かした講師の選定・講座動画の設計等を進める。</li> </ul>

**【評価指標⑧】学生が主体的な活動の中で能力を伸ばすことができるよう、正課外活動への支援を充実し、クラブ・サークル支援の満足度を80%以上に向上させることを旨す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業年次生アンケートにおけるクラブ・サークル支援満足度を80%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面のほかオンラインの利用を促進する。また、リーダーシップ研修（フォローアップ研修）を開催し、チーム力を養い、充実したクラブ・サークル活動に繋げる。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### I-4. 学修支援・授業支援

#### 目標

学修に専念できるよう、十分な学修支援を行うとともに、授業支援を適切に行い、教育効果を高める。

#### 主となる委員会・会議

全学教学改革推進委員会

全学FD委員会

図書館運営委員会

#### 主となる事務局

教育学術推進課

### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】 授業外での学修の必要性を高めることにより、卒業時における1日当たりの授業時間外の学修時間について、「2～3時間以上」を80%以上、「していない」を0%にすることを旨とする。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業時における1日当たりの授業時間外の学修時間について、「2～3時間以上」を60%以上、「していない」を5%以下にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員向けには学生の学びとその支援に焦点を当て、事前・事後学修を含めて学びを包括的にデザインする方法を提案する。また、学生向けには大学での学び方を支援する方法を提案する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートの学修時間が2020年度比20%増加させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位制度の趣旨を教職員および学生に周知する。</li> <li>学修成果と学修時間の密接性についての調査の実施とCAP制度の妥当性について検討し、検証を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>開講授業の60%において、LMS機能を活用（一部機能のみで可）する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度のオンライン授業の授業支援ノウハウを活かし、全学教育推進センターが適切に授業支援を行う。</li> </ul>

**【評価指標②】 アクティブ・ラーニングの普及を中心とした、教育効果を高める授業支援の在り方を検討し、適切な支援体制を整備する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>シラバスの授業方法にアクティブ・ラーニング手法を記載している授業の割合が大・短ともに70%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブ・ラーニングを実施している科目の教育効果の検証を行い、授業個別に適したアクティブ・ラーニングの手法を提案できる体制を整える。また、全学教育推進センターより、アクティブ・ラーニングの考え方について教授する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学生からの問い合わせへの自動回答を可能にするAIチャットボットの活用により、履修登録時の不安を解消する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIチャットボットに蓄積した情報をAIで解析することで、質問と回答を継続的にアップデートし、効率的にAIチャットボットによる自動回答ができるように構築する。</li> </ul>

**【評価指標③】 授業外学修の支援を充実させ、学生が目指す学修成果を達成できるように支援する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>学生が自ら学ぶ力をデザインする教育の制度設計を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員向けには、学生の学びとその支援に焦点を当て、事前・事後学修を含めて学びを包括的にデザインする方法を提案する。また、学生向けには、大学での学びや、学び方を支援する方法を提案する。</li> </ul>

**【評価指標④】 ラーニング・コモンズの利用者数を年間50,000人以上、利用満足度を90%以上、図書館利用サービス満足度を90%以上にすることを旨とする。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標達成済み。</li> <li>図書館利用状況を分析することにより、学修の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子図書の授業活用のための著作権等のマニュアルの作成や教員対象のガイダンスを実施し、学部の選書リストで購入した電子図書の利用率の2020年度比プラス30%にする。</li> <li>Qlik Sense（分析ツール）に入館・貸出状況等のデータを蓄積しながら、図書館利用状況を分析し、学生の利便性向上を図る。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### I-5. 就業力

#### 目標

積極的にキャリア形成支援を行い、社会を生き抜く力を育む。

主となる委員会・会議 全学学生委員会	主となる事務局 学生支援課
-----------------------	------------------

### 2021年度 事業計画

【評価指標①】在学生向け調査および卒業生調査を活用し、体系的なキャリア教育支援プログラムを実施する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年に対して、キャリアガイダンス・各種プログラムを体系的に配置して確実に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアガイダンスや各種プログラム・卒業生の体験談・インターンシップ・外部講師の招聘など、低学年を含め早い段階からキャリアについて学ぶ機会を作る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生はキャリアデザインシート、2~4年は学修目標の入力率80%以上、教員のコメント入力率は100%にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアデザインシートおよび学修目標の入力状況を定期的に担任（アカデミックアドバイザー）に提供することで入力促進を依頼する。また担任面談のコメント入力を確認し、入力を依頼する。</li> </ul>

【評価指標②】学生アンケート項目における、就職・進路満足度について、95%以上の学生から満足を得ることを目指す。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業年次アンケートで就職支援満足度および進路先の満足度を95%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種プログラムやセミナーの情報提供、求人情報の発信、キャリア支援ガイダンスの利用促進、Kyoritsu 就活の活用促進、全員面談の実施、未内定者への求人フォローなどを通して就活を支援する。未内定者でキャリア支援を利用していない学生に対して電話やメール等で利用を促し卒業までに進路が決まるよう支援する。</li> <li>就職ガイドブックに就活ノートの機能を持たせ早い段階から計画的に活動できるツールを用意するとともに、オンライン面談等も活用しながら適切に就職活動を支援する。</li> <li>学生の選択肢が広がるよう多くの企業・団体等と情報交換を行うことで求人票を獲得する。</li> </ul>

【評価指標③】都内女子大就職率 Top 5 入りすることを目標にする。(就職率=就職者数÷(卒業者数-大学院進学者数)×100)

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年3月卒業者の就職率において、都内女子大学就職率第5位校が93.0%であることから(本学は91.9%で6位)、2022年3月本学卒業生の就職率を93%以上(5位以上)となることを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の来訪・往訪対応、各種情報交換会に参加し関係性を深める。特に企業推薦を依頼してきた企業約40社から内定を出した企業を中心に企業訪問を実施する。</li> <li>Kyoritsu 就活(WEB ページ)を充実させ、どこからでも就活情報の閲覧を可能にする。</li> <li>学生にUI ターン・公務員などを含め、多様な情報を提供するとともに、保護者に対しても情報発信する。</li> <li>共立生のみ企業説明会などの企画を実施する。</li> </ul>

**【評価指標④】** 学生アンケート項目における、就職に対する不安を 2017 年度調査より 5 ポイント以上減らすことを目指す。

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>学生アンケートにおける就職に対する不安を 2020 年度調査より 1 ポイント以上減らす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面とオンラインも併用してキャリアカウンセラーとの個別相談や教職員との面談実施を行う。</li> <li>就活や職業について理解を深めるためのガイダンスを実施する。また、新入生に対しては就職活動への早い準備を行わせるため、活動スケジュールを示す。</li> </ul>

**【評価指標⑤】** 卒業時における社会人基礎力の自己評価で、全項目の平均を 3.30 以上にすることを目指す。

2021 年度 到達目標	2021 年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人基礎力の自己評価で、全項目の平均を 3.30 以上にすることを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人基礎力が今後の就職活動に活かせるツールであることを意識付けるため、低学年からガイダンスを実施する。</li> <li>社会人基礎力確認テスト (PROG) の受検期間の延長や受検時間の拡大、予備日などを設定し受検率を高める。また未受検者に対しては直接連絡して受検を促す。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### I-6. 地域連携

#### 目標

地域連携活動を通じて、地域に関する教育・研究の進展を図るとともに、知の成果を広く社会に還元し、教育的・学術的・文化的貢献を果たす。

{

 主となる委員会・会議  
 社会連携センター
 

 主となる事務局  
 教育学术推進課
 
}

### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】** 本学の特徴や強みを踏まえた地域連携活動を推進するため、地域における本学の役割や地域連携の在り方を明確化する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標達成済み。</li> <li>社会連携センターを中心に、自治体、大学間又は産学官連携の具体的な取組みについて、協定に基づき教員・学生とともに進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携協定を締結した南三陸町におけるフィールドワークプログラムを実施する。また地域や企業等と連携した全学的なPBLを普及させる。</li> <li>SDGsの教職員・学生への理解・周知を行い、地域社会との協働活動において指標に繋がる企画を実施する。</li> <li>連携協定を締結している自治体と相互に活性化に繋がる取組を実施する。また(株)八社会、林兼産業(株)などとの連携を強化し商品化により本学のリソースを社会に発信する。</li> </ul>

**【評価指標②】** 地域における他大学、各自治体、地域経済界等で構成されるプラットフォームを形成し、教学改革を推進する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標達成済み。</li> <li>千代田区キャンパスコンソの活動がより地域・社会に開かれたものにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位互換制度の過去2年度の実施状況や利用者のアンケート結果をもとに、履修申込時期・方法、広報等について改善を行い、出願取消可能期間の設置等により履修しやすい環境を整備し、制度利用者の増加を目指す。</li> <li>地域・千代田区等に関する講義のできる教員との調整を行い、共同公開講座を実施する。</li> <li>地域に関する授業科目、施設の提供、大学間人事交流等について、関係部署と連携して実施可能性を探る。</li> </ul>

**【評価指標③】** 家政学部児童学科付設の「発達相談・支援センター」の活動を点検・評価し、地域と連携する全学的なセンターにするなど一層の充実を図る。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>発達相談・支援センター運営委員会において、全学的なセンターなどの今後の方向性について検討を行うとともに活動の点検・評価を行い、適切性と今後の在り方を明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達相談・支援センター運営委員会には、家政学部教員のほか、共立女子大学全体の意見を集約するためにも各学部1人以上から組織されるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て広場「はるにれ」は、年間750組の利用、子育て講座年間6回、計80組の参加を目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報「千代田」や大学ホームページでの発信とともに、「はるにれ」ホームページにおいて子育ての専門情報の提供を行う。半期定額利用券を引き続き発行する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て広場「はるにれ」について、質の高い運営を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献コーディネーターによる専門性を生かしたサポート、スタッフの連携、学生ボランティアの指導等を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児親子グループ「さくらんぼ」は、年間30回、登録の親子45組を目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さくらんぼの参加希望者は毎年定員以上の応募があり抽選で決めているが、落選された応募者に対しても「はるにれの子育て講座」のご案内をするなど重要なステークホルダーとしてネットワークの構築に努める。</li> </ul>

【評価指標④】在学生の修学や教職員の子育て支援をより一層サポートするため、共立女子学園内託児所の活動を点検・評価し今後の在り方を検討する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・在学生や教職員のニーズに合った託児所サービスを提供する。	・委託先からの月例報告書をもとに、現状把握をするとともに、課題に対応する。 ・学内教職員に向けて、年2回（春・秋）にkyonet、ガールズ等のグループウェアで広報し、利用を促進する。

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### I-7. 教学マネジメント

#### 目標

ビジョンの達成に向けて、戦略的な企画立案、機動的な意思決定および執行を行う。

主となる委員会・会議 全学教学改革推進委員会	主となる事務局 大学企画課
---------------------------	------------------

### 2021年度 事業計画

【評価指標①】学長を中心とした全学的な教学マネジメントを構築し、大学教育の改革サイクルを展開させる。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・全学的な内部質保証システムを確立する。	・内部質保証システムを確立し、適切に機能させるために、他大学事例の検証を経て、学長・副学長のもと適切に協議を進めていく。
・職員のデータリテラシーや企画力の向上を目指す。	・データリテラシーや企画力を養うことを目標としたSDプログラムを実施する。
・大学院の適切な入学定員規模を定める。	・大学院の入学定員に関して経年分析を行い、学長・副学長・研究科長および関係各部署と協働しながら適切な入学定員を決めるためのデータを整える。
・「KWU 高大連携プログラム」受講者から、共立女子大学・短期大学への進学希望者を増加させる。	・「KWU 高大連携プログラム」を計画通り適切に運営し、併設校からの履修希望者を受け入れ、大学での学修を問題なく受講できるように事務局が協働して支援する。

【評価指標②】教育課程等の見直しに合わせて、専任教員と非常勤教員との連携や責任体制を明確化し、授業科目における専任教員の担当比率を高める。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・DPの達成と密度の濃い主体的な学修の実現を前提として、各学部・科ごとに「基本科目数」を制定し、適切な専任比率・非常勤比率を設定する。	・共立女子大学・短期大学におけるカリキュラム・マネジメントの手法を検討し、全教職員が「基本科目数」の考え方に関する共通認識を持つ。 ・教育課程ごとの適切な専任・非常勤比率を算出する。

【評価指標③】共立女子大学・短期大学の教員枠数である「基本教員数」に基づき、学部・科の特性を踏まえ、教育研究能力の高い教員を採用する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・教育研究能力の高い教員の採用を目指す。	・専任教員の採用方法に関して、優れている点や課題等の現状を明らかにし、その結果に応じた改善策を立案する。 ・昇任、昇格の基準を点検・評価するとともに、他大学の事例も調査し、必要に応じて改善する。

【評価指標④】入口—中身—出口管理を一貫した流れとして、学生の成長に寄与できる、IRを実践する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・各委員会や各部署でエビデンスベースの議論がしやすい環境を整える。	・Qlik Sense (分析ツール) での分析シートを増やすとともに参照可能範囲を広げる。 ・可視化や分析依頼があった内容について、Qlik Sense (分析ツール) を活用して行うことで、即時性のあるデータ提供を実現する。
・学生の成長(学修成果)に基づいた改善を適切に支援し、内部質保証を推進する。	・学長・副学長や各委員会・会議体と適切にコミュニケーションを取りつつ、アセスメントプランに基づいた必要な情報を適切なタイミングで提供する。

**【評価指標⑤】学園の経営課題や共立女子大学・短期大学の課題について教職員一人ひとりが迅速かつ正確に共有し、魅力ある学校づくりに教職員一体となって取り組む。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二期中期計画の各評価指標に対する進捗度を80%以上にすることを旨とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「事業計画書」「事業報告書」「進捗管理シート」を活用しながら適切に点検・評価する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステークホルダーに対して、積極的且つ適切な情報公開を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教学マネジメント指針(R1.1.22 中央教育審議会大学分科会)等各種資料を踏まえつつ、情報公開について点検・評価し、改善する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共立女子大学・短期大学のブランド力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度に設置した「大学・短期大学ブランディング戦略専門委員会」で具体的な議論を行い、ブランディングの定義を明確化する。また、それを学内で浸透させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップセンター（仮称）を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「リーダーシップの共立」を学内外に浸透させ、本学ならではの価値（レゾナードール）にするため「リーダーシップセンター（仮称）」の立ち上げに向けて準備する。</li> </ul>

## II. 共立女子中学高等学校

### 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

#### II-1. 生徒確保

##### 目標

教育課程・教育指導の改善充実、戦略的な広報、入試制度改革等を通じて、志願者の質の向上と人数の増加を図る。

主となる委員会・会議	主となる事務局
広報部	中学高等学校事務室
教務部	室
中高将来構想専門委員会	

#### 2021年度 事業計画

##### 【評価指標①】 共立女子中学校について、入学定員を確保する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標達成済み。</li> <li>引き続き適正に入学定員を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、WEBを中心とした新たな企画に取り組む。</li> </ul>

##### 【評価指標②】 実受験者数で1,000人、受験者総数で1,500人以上を目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年度入試において、実質倍率2倍以上を維持し、実受験者数1,000人、受験者総数1,500人以上を目標とする。(2019年度入試は、実受験者数1,156人、受験者総数1,792人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Instagram やFacebook等のSNSを活用し、大手塾通塾者以外の受験者や公立一貫校志願者層にも、アピールする。</li> <li>WEB イベントや動画配信サービスを利用することで、これまで本校受験を考えていなかった層を獲得する。</li> </ul>

##### 【評価指標③】 教育理念に共感し、目的意識の高い受験者層を拡充するため、戦略的な広報計画を実施する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、新しい教育活動に取り組んでいることを積極的に広報する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統のリベラルアーツの実践と新しい教育活動への取組の両面をWEB中心に発信する。また、LIVE型のオンライン学校説明会を行う。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### II-2. 教育の質

#### 目標

共立女子中学高等学校独自の学習システムを充実させ、進学面を強化し、時代に即した生徒の学力向上を図る。

主となる委員会・会議  
 教務部  
 国際交流部  
 進路指導部  
 情報システム管理委員会

主となる事務局  
 中学高等学校事務局

### 2021年度 事業計画

【評価指標①】グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上や資格試験等への対応を進める。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・中学卒業までに全員英検準2級以上の取得を目指す。	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンラインで実施可能な検定試験対策を調査検討し、実施する。

【評価指標②】グローバル人材育成の社会的要請や、海外研修希望生徒の増加傾向等を踏まえて、国際交流プログラムを充実させる。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・英語学習の意欲向上を目指す。	・各種プログラムの改善・充実を図る。新型コロナウイルス感染症の影響で海外研修が実施できない場合には、国内またはオンラインによる研修を実施する。

【評価指標③】新中学入試（帰国生入試における定員増、英語入試の開始、インタラクティブ入試の導入等）により、既に一定の英語力を有する入学者への英語力の向上策を検討し、確実に対応する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・Global Competence Program（グローバルコンピテンスプログラム）導入を目指し、英語のイマージョン教育をネイティブ教員と日本人教員のチームティーチングで実践する。	・高校の探究活動に結びつけて、SDGsなどグローバルな問題を英語で学び、考えや意見を英語で共有する活動を行う。

【評価指標④】新学習指導要領を踏まえつつ、「4+2システム」と「4つの力の育成プログラム」の点検・評価を行い、各教科指導の質を高める。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・中学校学習指導要領の実施状況を確認するとともに、高等学校新学習指導要領への対応を適切に行う。	・中学校学習指導要領の実施状況について、各学年や各教科への聞き取りを行い、必要に応じて指導・助言する。 ・高等学校学習指導要領の段階的施行に向けた最終的な準備を行う。 ・学習指導要領の改訂やICTの活用を充実させた授業計画（シラバス）を作成する。
・学校ルーブリックおよび教科ルーブリックを作成し、点検・評価に活用するとともに、各教科指導の質を高める。	・学校ルーブリックの検討と並行して、各教科に教科ルーブリックの作成方法を共有し、初版の作成に取り組む。 ・ルーブリックのほか、定期試験を重視する評価方法とは異なる学習成果の評価方法について情報収集する。
・中学の「総合的な学習の時間」および高校の「総合的な探究の時間」内容の点検・評価を行い、質を高める。	・これまでの内容の点検・評価を行い、6年間の探究活動の計画概要を作成し、2022年度からの運用に向けて準備する。
・カリキュラム・マネジメントの実践に必要な知識・技能を教員が修得する。	・カリキュラム・マネジメントに関わる研修をはじめ、教育に資する講演・研修などへの積極的な参加を促す。

**【評価指標⑤】 思考力・判断力・表現力を高める時代に即した教育の展開として、主体的・対話的な深き学びを図り、その実施方法の研究を進める。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の学習が社会で求められていることと繋がっているという意識を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業インターンワークや公的機関の出張講義など、企業・団体との連携を強化する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の自主的で自由な活動の範囲を増やすとともに、責任と秩序の意識を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年行事、生徒会活動、学級活動などを利用して、学校活動の中で生徒に考えさせ、課題解決させる場面を意識的に多く作る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクティブ・ラーニング実践のために必要なファシリテーターとしてのスキルを教員が身に付け、実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WEB上で他校の授業研究を行える「Find!アクティブラーナー」サイトの利用を促す。</li> </ul>

**【評価指標⑥】 ICT教育の充実策を検討し、実施する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員がICTを活用した教材の作成や授業への工夫を十分にできるスキルを身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員に対する研修を充実させ、実践例などの情報共有の場を設けることで教員のスキルアップを図り、授業などでタブレットをより効果的に活用できるようにする。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### Ⅱ－3. 教育力

#### 目標

生徒の学力向上・進学実績の向上を図るため、教育力を向上させる。

主となる委員会・会議	主となる事務局
教務部	中学高等学校事務室
進路指導部	務室
生活指導部	

#### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】 教員の相互評価や研究授業・教員研修を充実させ、確固とした教員の育成システムを構築する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・生徒に教員が持つ研究テーマや独自性を紹介し、魅力ある授業の在り方を探る。	・教員それぞれの研究・研修の在り方を相互理解できる機会を作り、情報提供を行う。

**【評価指標②】 学校評価に関わる生徒アンケートの「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「おおむねあてはまる」以上を90%以上にするを目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の学校評価に関わる生徒アンケートの「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「おおむねあてはまる」以上を90%以上にする。(2019年度は89.9%)	・補習・補講の機会を確保するとともに、ICTを活用して生徒一人ひとりに応じた指導体制を確立する。

**【評価指標③】 学校評価に関わる保護者アンケートの「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「おおむねあてはまる」以上を90%以上にするを目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の学校評価に関わる保護者アンケートの「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「おおむねあてはまる」以上を90%以上にするを目指す。(2019年度は83.4%)	・ICTを活用するなどして保護者との情報共有を維持するとともに、保護者側の考え方を的確に把握する。また、保護者の学校活動への十分な理解とともに生徒を育てていく協力体制の構築を進める。

**【評価指標④】 学校評価に関わる生徒アンケートに、「学校生活を通して、校訓である誠実・勤勉・友愛を意識し、行動ができるようになった」の設問を新たに設け、「おおむねあてはまる」以上を80%以上にするを目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の学校評価に関わる生徒アンケートの「学校生活を通して、校訓である誠実・勤勉・友愛を意識し、行動ができるようになった」の設問の肯定的評価を90%以上にするを目指す。(2019年度は87.0%)	・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を十分に講じたうえで、できる限りの行事を実施し、生徒が「4つの力(関わる力、動く力、考える力、解く力)」を身につけていく中で、生徒が主体的に校訓の意義を体得し行動に結びつけることができるようにする。

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### Ⅱ-4. 進路

#### 目標

大学進学等進路実績を踏まえた課題と対策について徹底した調査分析を行い、その結果に基づいて進路指導を充実させて、生徒一人ひとりに相応しい進路選択の機会を提供する。

主となる委員会・会議 進路指導部 教務部	主となる事務局 中学高等学校事務室
----------------------------	----------------------

### 2021年度 事業計画

【評価指標①】 国公立大学への現役進学率を毎年10%以上（東京大学3名以上）にすることを目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・国公立大学への進学者数10%以上を目指す。	・国公立大・私立大の志望については生徒本人の志望を大切にしながら、生徒の学力と志望の両面から進路指導を行い、生徒と進学先とのマッチングの向上を目指す。

【評価指標②】 難関私立大学（早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、東京理科大学、国際基督教大学）の現役進学率を毎年30%以上に、またGMARCH以上の大学への現役進学率を60%以上にすることを目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・GMARCH以上の大学への現役進学率を55%以上にすることを目標にする。	・一般選抜に加えて、総合型選抜などへの対策（小論文対策など）を充実させる。また、学習指導要領改訂前からの入試内容の変更について分析し、探究活動などの内容との連携を検討する。

【評価指標③】 共立女子大学・短期大学の教学面での魅力を伝え、志望者をサポートする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・共立女子大学卒業生の社会的な活躍に興味を持って貰えるよう共立女子大学・短期大学と連携を深めていく。	・対面・オンライン双方によるガイダンスの実施、進路通信「Lighthouse」での内容充実および共立女子大学・短期大学教員による出張授業などでサポートする。 ・共立女子大学・短期大学個別説明会、講演会、オープンキャンパスへの参加を呼びかけ、KWU 高大連携プログラムへの受講を促す。

【評価指標④】 2021年度入試からの新基準に沿った新入試制度対策を実施する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・新入試制度対策のみならず、各大学で作成する独自問題などへの興味・関心を高める。	・進路通信「Lighthouse」などで新旧入試の比較などの単なる情報発信のみならず、実際の入試問題を具体的材料にして情報提供する。

【評価指標⑤】 学校評価に関わる生徒アンケートの「大学進学に向けての相談・指導体制が整っている」の設問について、「おおむねあてはまる」以上を高校平均で90%以上にすることを目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・評価指標達成済み。（2019年度は90.3%） ・引き続き90%以上を目指す。	・卒業生による在校生に向けたキャンパスツアーを行う。 ・大学・教育産業等と連携して指導にあたるほか、NPOなどの団体との連携により、PBLなどを通じた進路意識の向上を行う。

【評価指標⑥】 学校評価に関わる保護者アンケートの「大学進学に向けての相談・指導体制が整っている」の設問について、「おおむねあてはまる」以上を高校平均で85%以上にすることを目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の学校評価に関わる保護者アンケートの「大学進学に向けての相談・指導体制が整っている」の設問の肯定的評価90%以上を目指す。（2019年度は75.7%）	・大学・教育産業等と連携して指導にあたるほか、NPOなどの団体との連携により、PBLなどを通じた進路意識の向上を行う。

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### Ⅱ－5. 管理運営

#### 目標

ビジョンの達成に向けて、戦略的な企画立案、機動的な意思決定および執行をおこなう。

主となる委員会・会議 中高将来構想専門委員会	主となる事務局 中学高等学校事務室
---------------------------	----------------------

### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】** 学園の経営課題や共立女子中学高等学校の課題について教職員一人ひとりが迅速かつ正確に共有し、魅力ある学校づくりに教職員一体となって取り組む。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・ICT等を活用して、教育環境の整備・拡充を図り、教育環境の充実を保護者や生徒がより実感できるようにし、関連の学校評価アンケートでの保護者・生徒の肯定的な回答の割合を高める。	・社会状況にあった、新しくより効果的な教授法や指導法の研修機会を増やす。また、オンラインによる教員研修への積極的な参加を促す。 ・生徒証のカード化に向けて、メリット・デメリットを洗い出し、検討を行う。

**【評価指標②】** 併設校間の教員の人事交流を活発にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・生徒数、カリキュラム編成に則した教員数の適正化を図る。	・定年退職者の状況、生徒数、カリキュラム編成等を勘案し、教育の質を低下させることのない教員体制となるよう共立女子中学高等学校と共立女子第二中学校高等学校との人事交流を含めて、後任人事を検討する。

### Ⅲ. 共立女子第二中学校高等学校

#### 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

##### Ⅲ-1. 生徒確保

###### 目標

教育課程・教育指導の改善充実、戦略的な広報、入試制度改革等を通じて、志願者を増加させる。

主となる委員会・会議

入試広報部

入試制度検討委員会

二中高将来構想委員会

主となる事務局

第二中学校高等

学校事務室

#### 2021年度 事業計画

【評価指標①】共立女子第二中学校高等学校について、入学者数の増加に努める。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年度入試における共立女子第二中学校の募集において、2020年度入試の入学者数（75人）を上回る80人を目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>WEB広報と資料発送の両面からの取組を強化する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年度入試における共立女子第二高等学校の募集において、2020年度入試の入学者数（103人）を上回る120人を目標とし、内進生と合わせ学年180人を目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給付奨学金制度の浸透に加え、高校コース制再編による入学者の純増を実現するため、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえて、デジタルシフトした広報を展開する。また、公立中学校・塾訪問も適切に行う。</li> </ul>

【評価指標②】共立女子第二中学校については、実受験者数200人、受験者総数で400人以上を目標とする。共立女子第二高等学校については、実受験者数350人、受験者総数で380人以上を目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年度入試における共立女子第二中学校の入試において、2020年度入試の受験者総数（394人）を上回る400人を目標とする。また、共立女子第二高等学校の入試においては、2020年度入試の受験者総数（153人）を上回る180人（推薦入試：80人、一般入試：100人）を目標にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学においては、中学から高校への接続を踏まえて2022年4月の高等学校の英語コース開設と高校コース制再編を重点的に広報する。</li> <li>高校においては英語コース、コース制再編に加え、給付奨学金制度、高大連携プログラム、ICT環境の充実を重点的に広報する。</li> </ul>

【評価指標③】定員に満たない年次は、海外からの帰国子女を含め、積極的に転編入を受け入れる。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外帰国生入試の認知度を上げ、志願者、入学者数を増加させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の教育施設や海外帰国生向けの広報媒体を増やし、海外子女教育振興財団、JOBA、在外教育施設などを経由した広報活動を展開する。</li> </ul>

【評価指標④】スポーツ・芸術活動等に優れている、また卒業生子女であることを配慮した入試制度を積極的に活用する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ・芸術活動等に優れている生徒、卒業生子女で入学する生徒について、2022年度入試において10名受け入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の状況をSNS等で広報する。大会やコンクールを通じてスポーツ・芸術活動に優れた生徒の情報を収集する。また同窓会と連携し、卒業生子女に対する優遇制度の認知度を向上させる。</li> </ul>

【評価指標⑤】教育理念に共感し、目的意識の高い受験者層を拡充するため、戦略的な広報計画を実施する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>給付奨学金等の制度を含め、本校の魅力を継続的に発信し、教育理念に共感し、目的意識の高い受験者層を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやSNS等を効果的に活用し、給付奨学金制度、高大連携の推進、ICT教育の推進、探究の時間の活用などを柱とした本校の魅力を発信する。</li> <li>広報アドバイザーとの連携を強化し、受験者数の多いエリア、塾・学校などに重点を置いた効果的かつ戦略的な広報を展開する。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### Ⅲ－２．教育の質

#### 目標

新学習指導要領・高大接続改革等、新たな教育体制に対応し得る教育課程やシラバスの充実、国際化の進展を図り、生徒の学力および21世紀に求められる力（思考力・実践力）の向上に努める。

主となる委員会・会議

英語科

二中高国際交流委員会

教務部

進路指導部

主となる事務局

第二中学校高等学

校事務室

#### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】**グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は極めて重要であることから、英語教育改革を実行する。具体的には、徹底した英語教育を展開するシラバスに抜本的に変更する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育を抜本的に見直し、生徒の英語力向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語教育グランドデザインを策定し、それに基づいたプログラム(英語研修、ISA エンパワメントプログラム等)を実践する。</li> <li>CFERB2 レベル(英検準1級程度)の英語力の習得を目指すコースカリキュラムを策定する。</li> <li>ニュージーランドの姉妹校との短期交換留学を実現する。また、中期(ターム)留学を実施する。</li> <li>「Global Language Square」においてイマージョンワークショップを実施する。</li> </ul>

**【評価指標②】**全生徒の英語力を確実に飛躍させるため、4技能統合型の英語授業を展開し、実用英語技能検定(英検)における数値目標(下記)を達成することを目指す。

中学APクラス…卒業までに全員準2級以上取得、 中学Sクラス…卒業までに全員3級以上取得

高校特別進学コース…卒業までに全員2級以上取得

高校総合進学コース…卒業までに全員が準2級以上を、うち25%が2級以上取得

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学APクラスは卒業までに全員準2級以上を、Sクラスは卒業までに全員3級以上を取得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能統合型授業を軸に、オンライン英会話、英語宿泊研修、短期集中英語研修を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高校特別進学コースは卒業までに全員2級以上を、総合進学コースは卒業までに全員準2級以上を、うち25%が2級以上を取得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能統合型授業を軸に、オンライン英会話、英検ゼミ、短期中期NZ留学(希望制)を行う。</li> </ul>

**【評価指標③】**新学習指導要領を踏まえた「針路プログラム」の点検・評価を実施し、より一層充実させることで、各学年の外部模試における数値目標(進研模試判定でB1以上、学年の30%)を達成することを目指す。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部模試における数値目標(進研模試判定B1以上、学年の30%)を達成することを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領を踏まえて点検した「針路プログラム」を各学年と共有し、模試結果の分析とともに、思考力・判断力・表現力を育成するため、教科ごとに授業研究を行い、実践する。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### Ⅲ－3. 教育力

#### 目標

生徒の学力向上・進学実績の向上を図るため、教育力を向上させる。

主となる委員会・会議  
情報システム委員会  
二中高将来構想委員会

主となる事務局  
第二中学校高等学校  
校務室

#### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】 教員の相互評価や研究授業・教員研修を充実させ、確固とした教員の育成システムを構築する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・教員の相互評価システムの構築を図りつつ、2022年の新学習指導要領に対応すべき授業改革を行う。	・授業手法や授業改革に関する教員相互評価に取り組む。また、新学習指導要領に対応した高校カリキュラムを教務部が中心になって作成する。
・研修成果の共有化を一層推進する。	・電子化された研究論集を充実させ、オンラインを活用して研究成果を共有する。
・研修参加システムの充実を図る。	・グループウェアを通じて、セミナーや研究会の情報を全教員に提供し、積極的参加を促す。
・教員の充実した研修時間を確保する。	・時間割作成段階で調整を行うとともに、オンラインでの研修参加を促す。

**【評価指標②】 学校評価に関わる生徒アンケートによる「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にするを目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の生徒アンケートによる「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にするを目指す。(2019年度は68.6%)	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、学期中の補習や長期休暇中のゼミを行う。学力向上をさらに促進するためのオンライン教材の調査を進める。

**【評価指標③】 学校評価に関わる保護者アンケートによる「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にするを目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の保護者アンケートによる「学力を伸ばすよう熱心に指導している」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にするを目指す。(2019年度は84.9%)	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、学期中の補習や長期休暇中のゼミを行う。学力向上をさらに促進するためのオンライン教材の調査を進める。

**【評価指標④】 学校評価に関わる保護者アンケートによる「わが子をこの学校に入学させてよかった」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にするを目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・評価指標達成済み。(2019年度は92.7%) ・引き続き90%以上を目指す。	・学年から年3回の保護者会や毎月の学年通信を通じた保護者への情報伝達を、オンラインを活用しながら推進するとともに、内容の工夫と改善を行う。

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### Ⅲ-4. 進路

#### 目標

共立女子第二中学校高等学校独自の進路システム「針路プログラム」を充実させ、大学進学等進路実績を踏まえた課題と対策について徹底した調査分析を行い、その結果に基づいて進路指導を充実させて、生徒一人ひとりに相応しい進路選択の機会を提供する。

主となる委員会・会議 進路指導部 教務部	主となる事務局 第二中学校高等学 校事務室
----------------------------	-----------------------------

#### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】特別進学コースにおける国公立大学および難関私立大学（早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、東京理科大学、国際基督教大学）の現役進学率を30%以上に、GMARCHおよび理工系・医療系への現役進学率を60%以上にすることを目標にする。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・特別進学コースにおける国公立大学および難関私立大学（早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、東京理科大学、国際基督教大学）の現役進学率を25%以上に、GMARCHおよび理工系・医療系への現役進学率を50%以上にすることを目標にする。	・長期休暇中のゼミに加えてウインターゼミを行う。また、外部講師ゼミ、勉強合宿、模試（学校実施以外）の情報提供を充実させる。 ・2020年度のスタディサプリの導入（高3）の学習成果を検証する。

**【評価指標②】総合進学コースにおける共立女子大学・短期大学への現役進学率を60%に、外部大学への現役進学率を40%にすることを目標にする。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2022年度入試において、総合進学コースから共立女子大学・短期大学への現役進学率を60%に、外部大学への現役進学率を40%にすることを目標にする。（2020年度入試は、共立女子大学・短期大学への現役進学率が50%、外部大学への現役進学率が43%）	・長期休暇中のゼミについて、生徒の学力に則したグレード別のゼミを実施し、受験に対するモチベーションを高める。

**【評価指標③】共立女子大学・短期大学の教学面での魅力を伝え、志望者をサポートする。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・KWU 高大連携プログラムを実現する。	・共立女子大学・短期大学個別説明会、講演会、オープンキャンパスへの参加を呼びかけ、KWU 高大連携プログラムへの積極的受講を促す。

**【評価指標④】2021年度入試からの新基準に沿った新入試制度対策を実施する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・変化する入試改革に対し、受験生が不安を抱くことがないよう、常に新しい情報の提供と適切な入試対策を実施する。	・「針路プログラム」の点検・評価、共通テストの研究を各教科で行い、新しい入試に対する対策を強化する。また総合型選抜対策として、小論文対策を体系的に実施し、書く力、表現する力を養成する。入試方式の変更等、受験生に必要な情報は進路説明会・進路通信を通じて周知する。

**【評価指標⑤】学校評価に関わる生徒アンケートによる「大学進学に向けての相談・指導体制が整っている」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にすることを目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の生徒アンケートによる「大学進学に向けての相談・指導体制が整っている」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にすることを目指す。（2019年度 65.3%）	・進路説明会や講演会を積極的に実施するとともに、進路冊子の見直しを進め、より有用な進路情報を伝えていく。個人面談、三者面談等を通じて、きめ細かく進路に関する相談に応じる。

【評価指標⑥】学校評価に関わる保護者アンケートによる「大学進学に向けての相談・指導体制が整っている」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にするを目指す。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年度の保護者アンケートによる「大学進学に向けての相談・指導体制が整っている」の設問について、「そう思う」以上を90%以上にする。(2019年度87.3%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路状況冊子や進路通信を通じて、的確な進路情報の提供を行う。また、保護者会・保護者面談を通じて情報共有するとともに、随時相談に応じる体制を整える。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### Ⅲ－５．管理運営

#### 目標

ビジョンの達成に向けて、戦略的な企画立案、機動的な意思決定および執行をおこなう。

主となる委員会・会議 二中高将来構想委員会	主となる事務局 第二中学校高等 学校事務室
--------------------------	-----------------------------

### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】** 学園の経営課題や共立女子第二中学校高等学校の課題について教職員一人ひとりが迅速かつ正確に共有し、魅力ある学校づくりに教職員一体となって取り組む。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・志願者・入学者増加を目指し、2022年4月の高校の英語コース新設およびコース制再編（特別進学コース・総合進学コース・共立進学コース）に向けて取り組む。	・適切なカリキュラム、時間割、教育内容・教育方法等の計画を策定し、東京都への手続きを遺漏なく行うとともに重点的に広報を行う。

**【評価指標②】** 入学者数に則したカリキュラム改革を実施し、人件費の抑制に努める。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・人件費の抑制に努める。	・2022年4月の英語コースの開設およびコース制再編に合わせ、人件費抑制の観点を持って人員配置を行う。

**【評価指標③】** 併設校間の教員の人事交流を促進する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・生徒数、カリキュラム編成に則した教員数の適正化を図る。	・定年退職者の状況、生徒数、カリキュラム編成等を勘案し、教育の質を低下させることのない教員体制となるよう共立女子中学高等学校と共立女子第二中学校高等学校との人事交流を含めて、後任人事を検討する。

## IV. 共立大日坂幼稚園

### 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

#### IV-1. 園児確保

##### 目標

教育課程・教育指導の改善充実、入園者選考方法の改善等を通じて、志願者を増加させる。

主となる委員会・会議 入園者選考関連委員会	主となる事務局 —
--------------------------	--------------

### 2021年度 事業計画

#### 【評価指標①】 共立大日坂幼稚園について、入学定員を確保する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標達成済み。</li> <li>引き続き適正に入学定員を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児募集の効果的な広報（幼稚園案内パンフレット作成、ホームページ上で定期的にトピックス更新）を行う。</li> <li>地域の未就園児のための活動（園庭開放を年12回、絵本の読み聞かせを年10回実施、説明見学会を7回）実施する。</li> </ul>

#### 【評価指標②】 定員に満たない年次は、積極的に転編入を受け入れることを目標にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>園児数が定員に満たない年次については、転編入を受け入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>編入者募集情報について、共立大日坂幼稚園ホームページや文京区私立幼稚園連合会ホームページに掲載する。</li> </ul>

#### 【評価指標③】 教育理念に共感する志願者を獲得するために効果的な広報計画を実施する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、幼稚園案内パンフレットを用いて教育活動の様子を伝え、入園児数確保に繋げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ上のトピックスに教育活動の様子を年55回以上掲載する。また、幼稚園案内パンフレットを作成し、園児の活動や教育について掲載し、適切なタイミングで情報提供する。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### IV-2. 教育の質

#### 目標

新幼稚園教育要領を踏まえ園児が生きていくための力を育む。

主となる委員会・会議 幼稚園教員会	主となる事務局 —
----------------------	--------------

### 2021年度 事業計画

【評価指標①】新幼稚園教育要領を踏まえ、「遊び」を通しての指導や就学前教育を取り入れた教育を徹底する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の学校評価アンケートの「教育方針や目標がしっかりしている」について、「そう思う」以上を100%、「教育方針にそって保育実践がなされている」について、「そう思う」以上を100%で維持する。(2019年度100%)	・これまでの教育活動を徹底し、学校評価アンケートを行い、その結果をホームページ上や在園保護者へ配付する。

【評価指標②】園児の活動・行事・生活それぞれについて幼稚園教育要領の中の「幼稚園教育の基本」が推進されているのかを検証する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2021年度の学校評価のアンケートの「教師は、遊びを大切にし、発展させ、豊かな学びを促している」について、「そう思う」以上を98%以上で維持する。(2019年度97%)	・毎月保護者宛に配付する「学年だより」の中で、カリキュラムに沿った「遊び」「活動」についての月間目標を詳細に記載するとともに、活動の様子を写真掲載するなど、保護者にわかりやすく報告する。

【評価指標③】教育活動との関係性を配慮しつつ、社会の動向、文京区の要請等を把握し、地域・社会との連携策を実施する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・地域の未就園児を対象とした園庭開放および絵本の読み聞かせを実施する。	・園庭開放を12回、絵本の読み聞かせを10回実施する。なお、新型コロナウイルス感染症の感染予防策として、時間を短くして参加申込組数を制限して実施する。

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### IV-3. 教育力

#### 目標

教育力を向上させて、園児一人ひとりの健やかな成長を促す。

主となる委員会・会議 園内研修検討委員会	主となる事務局 —
-------------------------	--------------

### 2021年度 事業計画

【評価指標①】様々な領域を踏まえた計画的な園内研修システムや教員相互が評価し合う研究保育や学外での教員研修の充実を図る。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・園内研修を実施し、共立女子大学家政学部児童学科の教員と連携し教育力を向上させる。	・事例発表の園内研修を1回実施し、共立女子大学家政学部児童学科の教員と意見交換する。

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### IV-4. 保護者との連携・協力

#### 目標

共立大日坂幼稚園で園児が心から安心して過ごすために、保護者と温かな関係を築き、絆を深める。

主となる委員会・会議 幼稚園教員会	主となる事務局 —
----------------------	--------------

### 2021年度 事業計画

【評価指標①】保護者懇談会や保護者アンケートを実施し、改善点や検討課題を保護者会で共有することを通じて、保護者からの高い支持の獲得を目指す。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・学校評価アンケートの保護者からの提出率を88%以上にする。	・役員会、学年保護者会での意見交換を通じて、園の教育活動への関心を高め、学校評価アンケートの提出率に繋げる。

【評価指標②】個人面談やグループ面談などの場を設け、子育て支援に努める。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・子育てに関する情報を、面談を通して適切に提供する。	・個人面談を学期ごとに1回実施し、電話面談も併せて希望者に実施する。

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### IV-5. 管理運営

#### 目標

ビジョンの達成に向けて、戦略的かつ機動的な管理運営をおこなう。

主となる委員会・会議 幼稚園教員会	主となる事務局 —
----------------------	--------------

### 2021年度 事業計画

【評価指標①】学園の経営課題や共立大日坂幼稚園の課題について教職員一人ひとりが迅速かつ正確に共有し、魅力ある幼稚園づくりに教職員一体となって取り組む。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・教育の質の向上を目指し、多様な業務に対応するための適切な人員配置を検討する。	・教員の業務内容を可視化し、人的リソースの再配分を行いつつ、PCの台数を増やし、ICTを活用しながら業務効率化を促進する。 ・幼児教育無償化に伴う業務や新型コロナウイルス感染症の感染予防に伴う業務量も明らかにして業務を補う体制を構築する。

## V. 共立女子学園

### 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

#### V-1. 財政

##### 目標

堅実な経営基盤を維持・向上させるために必要な財務戦略を立案・実行する。

主となる委員会・会議 財政運営会議	主となる事務局 財務課
----------------------	----------------

#### 2021年度 事業計画

【評価指標①】 マスタープラン達成に必要な資源を確保し、財政的な支援を行う。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>「共立女子学園フューチャーズ募金」の個人からの寄付金額2,000万円を目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやパンフレット等を利用して、幅広く広報活動を行う。また、継続寄付者や寄付者の傾向を分析するとともに、記念品についても見直す。</li> <li>2020年8月で終了した「共立女子学園サポーターズ募金」の使途説明を寄付者およびステークホルダーに行う。</li> </ul>

【評価指標②】 適切に収入を確保し、必要な支出について検証し、収支均衡を目指した予算を策定する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年度予算において、ビジネス学部に係る収支を除いた事業活動収支差額比率を0%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により当初計画から変更になった教育活動や施設設備更新計画を検証する。</li> <li>過年度および2021年度期中の収支状況、各校の活動方針を検証し、学生生徒納付金や教育活動経費の収支のシミュレーションを行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針に基づいた計画的な資金運用を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資金運用委員会において資金運用の基本方針を定め、法人運営に必要な資金の運用計画を見直すとともに、保有資金の運用および債券等の新規保有を行う。</li> </ul>

【評価指標③】 学園の永続維持を果たすために、基本金組入前当年度収支差額を収入超過にする。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年度決算において、ビジネス学部に係る収支を除いた基本金組入前当年度収支差額を収入超過にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八王子の土地売却に伴う収支の影響等を確認し、予算執行について検証を行う。</li> </ul>

【評価指標④】 共立女子第二中学校高等学校の財政状況を踏まえて、収支改善方策を検討する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動の充実と入学者数増加に努め、収支改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語コースの設置、高校コース制再編、高大連携の取組、スポーツ・芸術分野に優れた生徒への給付奨学金制度の活用を推進する。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### V-2. 人事

#### 目標

学園の発展や中期計画の達成のため、教職員がやり甲斐を持ちながら能力を生かし活躍できる人事施策を推進する。

主となる委員会・会議 学園将来基本構想委員会	主となる事務局 総務課
---------------------------	----------------

#### 2021年度 事業計画

**【評価指標①】教職員が意欲と能力を十分発揮できるよう、財政状況を踏まえた新しい人事・給与制度を導入する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・事務局における人事評価制度を定着させる。	・評価者の資質向上を目的とした研修を実施する。 ・法人系の基幹システムの変更検討に連動して人事評価・業績評価を一元的に管理する人事マネジメントシステム導入を検討する。
・事務局において2021年度の人事評価結果を2022年度賞与への連動を目指す。	・人事評価制度と連動した賞与とするために制度を整備する。また、職員を対象とした説明会を開催して周知に努める。
・人材育成方針に基づく人員配置を行う。	・適切な人員配置やジョブローテーションを行うため、人事評価と自己申告書を踏まえた人事異動を行う。
・事務局における在宅勤務制度を導入する。	・テレワーク制度検討ワーキングチームでの検討内容を踏まえて、在宅勤務に係る規程整備および対象職員への説明等を実施する。

**【評価指標②】多様な雇用・就労形態による人材活用、高い専門性を持つ専任職員の採用、働き方改革等、新たな職員の採用を含んだ職員採用計画を策定し、実施する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・退職者の状況を踏まえて、計画的な採用を行う。	・各種求人媒体を活用して応募者を集め、新卒採用を6月に、既卒採用を10月に実施する。
・職務限定職員の計画的な採用を行う。	・各課・グループにおいて特定の専門性や経験を有する業務の洗い出しを行い、職務限定職員の配置枠の検討を行う。

**【評価指標③】資質向上と組織力強化のため、全専任教職員を対象としたFD・SD研修会等を実施し、全専任教職員の参加を目指す。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・研修会に全専任教職員が参加することを目指す。	・全専任教職員を対象としたSD研修会（含むオンデマンド研修）を実施する。 ・事務局職員の体系的な研修制度を検討する。

**【評価指標④】事務局の業務を業務委託の活用も含めて見直し・整理し、事務局組織の最適化を図る。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・評価指標達成済み。 ・2020年9月より再編した事務局組織の業務効率化を一層高める。	・事務局各業務のシステム化およびペーパーレス化を検討する。

**【評価指標⑤】共立女子大学・短期大学の教育課程等を踏まえ、新しい基本教員数を定める。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・基本教員数を適切に管理する。	・学長・副学長の下、教育活動と人件費管理の双方の観点から踏まえて退職予定教員の補充人事を行う。

**【評価指標⑥】 共立女子大学・短期大学の学部・科の特性や助手の業務実態を踏まえて、助手の適正人数を定める。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学長の下、助手の適正人数を定め適切に管理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学長の下、教育活動と人件費管理の双方の観点から退職予定助手の補充人事を行う。</li> </ul>

**【評価指標⑦】 共立女子第二中学校高等学校の生徒数の減少を踏まえ、カリキュラム編成の見直しに即した教員数にし、共立女子中学高等学校との人事交流を促進する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数、カリキュラム編成に即した教員数の適正化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職者の状況、生徒数、カリキュラム編成等を勘案し、教育の質を低下させることのない教員体制となるよう共立女子中学高等学校と共立女子第二中学校高等学校との人事交流を含めて、後任人事を両校長と検討する。</li> </ul>

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### V-3. 施設設備

#### 目標

教育研究の維持向上と学生・生徒・園児の安全を確保するため、計画的に施設設備を整備し、環境整備を図る。

主となる委員会・会議 学園キャンパス整備検討委員会	主となる事務局 財務課、情報システム課
------------------------------	------------------------

#### 2021年度 事業計画

【評価指標①】神田一ツ橋キャンパスの施設設備について、長期的視点に立ったグランドデザインを策定する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・キャンパスグランドデザイン（素案）における3案（A案、B案、C案）のうち、いずれかの案をベースとして基本的な方向性を定める。	・ワーキングチームを再度立ち上げ、審議する。

【評価指標②】神田一ツ橋キャンパスの各号館について、中期的視点に立って毎年の設備更新計画（情報インフラ含む）を策定し、適切に実施する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・学生アンケートにおいて無線ネットワーク関連の問題報告件数を「0」に近づける。	・2020年度までに構築した無線ネットワークの活用状況をモニタリングし、AP(アクセスポイント)機器の最適な配置を行う。
・授業運営における不具合発生数を「0」に近づける。	・2020年度にまとめたAV機器・什器の更新計画に基づき、費用対効果を確認しながら更新を進める。
・二酸化炭素の排出量削減第四計画期間を見据え、第三計画期間（2020～2024年）に行える設備的な省エネルギー対策を長期修繕計画に盛り込む。	・温室効果ガス排出量が削減可能な機器の選定を行い、可能な範囲で前倒しの計画を立てる。また、国や東京都からの補助金も積極的に活用する。
・法人システムの再構築として、新しいシステムの導入設計、運用に向けて検討を行い、2021年度末には2022年度予算システムの本番運用を開始する。	・法人システム再構築検討のため、プロジェクトを編成し、新システムと現行運用機能の適合性の検証を行う。先行導入の予算システム設計を中心に行い、2022年度にはすべてのシステムを新システムで運用する。

【評価指標③】八王子キャンパスについて、必要不可欠な施設設備を確認し、今後の施設設備利用計画を策定する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・共立女子第二中学校高等学校 ICT化における2021年度計画分について、計画通りに構築を完了し運用を開始する。	・共立女子第二中学校高等学校 ICT化計画の2年目として、2020年度に設置した無線ネットワークの活用状況をモニタリングし、AP(アクセスポイント)機器の最適な配置を行う。教職員がツールを問題なく利用できるよう、研修を月に1度行う。
・八王子キャンパスにおける施設の集約と代替施設の整備について、2022年4月からの実施に向け、必要となる改修工事を完了する。	・八王子キャンパスで行われている行事を精査し、代替施設に必要な設備などを整備して、滞りなく移行が出来るよう、綿密な打ち合わせのもと工事や予算付けなどを進める。

【評価指標④】八王子キャンパスの土地の売却処分を推進する。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・共立女子第二中学校高等学校の旧校地の売却を完了する。	・旧校地を売却後、深井戸などの利用に支障の無いように、境界確定を確実に進行。

【評価指標⑤】各研修センターについて、今後の利用計画を策定する。特に、軽井沢・河口湖の研修センターについては、利用実態を把握し利用率の向上を図る。

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・2020年度に策定した研修センターの運営方針に基づき、軽井沢寮、河口湖寮の利用計画を策定する。	・軽井沢と河口湖の両研修センターの目的を明確にし、利用計画を策定するための資料をまとめる。

## 中期計画に掲げる5年間の目標と評価指標

### V-4. 櫻友会・後援会・地域等との連携

#### 目標

櫻友会・後援会・地域等との連携を通じて、各設置校の発展に寄与し、活動を支援する。

{
主となる委員会・会議  
—
主となる事務局  
総務課
}

## 2021年度 事業計画

**【評価指標①】 学園と櫻友会・後援会・地域等との連携方策の点検・評価を行い、組織・運営の充実を図る。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・ 櫻友会と学園の連携について点検・評価を行う。	・ 櫻友会と定期的に打合せを実施し、連携事業について意見交換を行う。
・ 地域との連携を強化する。	・ 地域からの要請に迅速に対応する。

**【評価指標②】 櫻友会との連携により卒業生ニーズを把握し、卒業生の満足度を高める施策を実施する。**

2021年度 到達目標	2021年度 活動概要
・ 櫻友会と新たな連携を構築する。	・ 櫻友会と定期的に打合せを実施し、連携事業について意見交換を行う。

## 2. 2021 年度予算の概要

### (1) 2021 年度予算編成方針

本学園が、学園ビジョン、第二期中期計画を踏まえた諸活動を推進するとともに、強固な財政基盤を再構築していくため、2021 年度の予算編成は以下の基本方針に基づき策定する。

<基本方針>

- ビジネス学部に係る収支を除外して、当該年度の学園に帰属する収入規模（学生生徒等納付金、寄付金、補助金、資産運用収入他）に応じた適正な支出規模となる収支均衡予算を策定する。
- 全ての支出行為の合理性を検証し、支出を抜本的に見直し、経費節減を徹底する。
- 人件費及び施設設備費等の固定費削減等の見直しを図る。

第二期中期計画の目標を達成するため、2022 年度までに事業活動収支の経常収支差額比率は5%とすることを指している。2021 年度はビジネス学部設置2年目となるが、完成年度までは段階的に増えていく学生数に応じた学費収入となるため、事業活動収支の経常収支差額において、ビジネス学部に係る収支を除外して収支均衡（経常収支差額比率0%以上）となる予算を編成した。

以上を踏まえた 2021 年度予算の概要は次のとおりである。

### (2) 資金収支予算（表1）

【収入】学生生徒等納付金収入は、ビジネス学部設置2年目を踏まえ、前年度予算額より約2億4,200万円増の約85億3,300万円を計上した。また、手数料収入は、入学検定料収入についてはコロナ禍の影響による受験者数減の実績を考慮し、前年度予算額より約2,600万円減の約2億9,300万円を計上した。補助金の収入のうち、経常費補助金については、各設置校の予測学生生徒数をもとに過年度の補助金実績額を踏まえ前年度予算額より約1,400万円増で計上している。それ以外の収入については、近年の実績額を見込み計上した。

その他、特定資産の取崩収入約6億2,600万円と前年度繰越支払資金約30億9,300万円を加え、収入の部合計を約149億2,600万円として計上した。

【支出】人件費支出は、退職予定者と採用予定者とを加味して、前年度予算額より約600万円減の約63億1,600万円を計上した。それ以外の支出では、経常的な活動に関わる経費の他、中期計画予算、神田キャンパスネットワーク機器更新、神田本館空調関連工事他各所修繕および設備更新工事等の事業計画実施に伴い、教育研究経費支出は約28億100万円、管理経費支出は約6億7,800万円、施設関係支出は約1億3,600万円、設備関係支出は約2億8,700万円を見込んでいる。

その他、特定資産への繰入支出は16億円、翌年度繰越支払資金約29億1,300万円を計上した。

### (3) 事業活動収支予算（表2）

教育活動外収支差額は、約8,900万円の収入超過となったが、教育活動収支と教育活動外収支を合わせた経常収支差額では、約5,500万円の支出超過、経常収支差額比率 -0.5%となる。また、特別収支区分の特別収支差額は、約3,900万円の支出超過となる。

以上に予備費1億円を加え、基本金組入前当年度収支差額は約1億9,400万円の支出超過となり、基本金組入額約1億8,700万円を第1号基本金に組み入れ、当年度収支差額は約3億8,100万円の支出超過となる。

### (4) 中期計画予算（表3）

第二期中期計画に掲げられた重点施策（マスタープラン）達成のための実行計画（アクションプラン）は、所管する各部署、委員会で計画の適切性、予算および資源の合理性等を検討し、各個別計画予算として計上した。

表1. 資金収支予算総括表

## 収入の部

(単位：千円)

科目	2021年度	2020年度	増減
学生生徒等納付金収入	8,532,967	8,291,243	241,724
手数料収入	306,150	331,854	△ 25,704
寄付金収入	62,100	74,250	△ 12,150
補助金収入	1,783,616	1,603,185	180,431
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	24,715	19,340	5,375
受取利息・配当金収入	91,918	65,656	26,262
雑収入	157,322	205,011	△ 47,689
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,391,795	1,525,795	△ 134,000
その他の収入	1,144,488	1,334,424	△ 189,936
資金収入調整勘定	△ 1,661,984	△ 1,464,003	△ 197,981
前年度繰越支払資金	3,092,765	2,952,446	140,319
収入の部合計	14,925,852	14,939,201	△ 13,349

## 支出の部

科目	2021年度	2020年度	増減
人件費支出	6,315,624	6,321,668	△ 6,044
教育研究経費支出	2,800,862	2,825,996	△ 25,134
管理経費支出	677,636	643,158	34,478
借入金等利息支出	3,333	5,000	△ 1,667
借入金等返済支出	83,330	83,330	0
施設関係支出	136,200	113,000	23,200
設備関係支出	286,627	193,326	93,301
資産運用支出	1,600,000	1,600,000	0
その他の支出	115,250	115,750	△ 500
〔予備費〕	100,000	100,000	0
資金支出調整勘定	△ 105,800	△ 105,762	△ 38
翌年度繰越支払資金	2,912,790	3,043,735	△ 130,945
支出の部合計	14,925,852	14,939,201	△ 13,349

※2021年3月時点のものであり、その後補正によって変更が生じる場合がある。

※単位を千円未満四捨五入としているため合計額と一致しない場合がある。

表2. 事業活動収支予算総括表

(単位：千円)

		科目	2021年度	2020年度	増減
教育活動収入	事業活動の収入部	学生生徒等納付金	8,532,967	8,291,243	241,724
		手数料	306,150	331,854	△ 25,704
		寄付金	62,100	74,250	△ 12,150
		経常費等補助金	1,783,616	1,603,185	180,431
		付随事業収入	24,715	19,340	5,375
		雑収入	157,322	205,011	△ 47,689
		教育活動収入計	10,866,870	10,524,882	341,987
教育活動支出	事業活動の支出部	科目	2021年度	2020年度	増減
		人件費	6,274,159	6,155,305	118,854
		教育研究経費	4,026,654	4,130,191	△ 103,537
		管理経費	709,329	673,478	35,850
		徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	11,010,141	10,958,974	51,167		
教育活動収支差額			△ 143,271	△ 434,092	290,821
教育活動外収入	事業活動の収入部	科目	2021年度	2020年度	増減
		受取利息・配当金	91,918	65,656	26,262
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	91,918	65,656	26,262	
	事業活動の支出部	科目	2021年度	2020年度	増減
		借入金等利息	3,333	5,000	△ 1,667
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	3,333	5,000	△ 1,667		
教育活動外収支差額			88,585	60,656	27,929
経常収支差額			△ 54,686	△ 373,436	318,749
特別収支	事業活動の収入部	科目	2021年度	2020年度	増減
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	6,200	6,200	0
	特別収入計	6,200	6,200	0	
	事業活動の支出部	科目	2021年度	2020年度	増減
		資産処分差額	45,320	56,900	△ 11,580
		その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	45,320	56,900	△ 11,580		
特別収支差額			△ 39,120	△ 50,700	11,580
〔 予備費 〕			100,000	100,000	0
基本金組入前当年度収支差額			△ 193,806	△ 524,136	330,329
基本金組入額合計			△ 186,840	△ 272,405	85,565
当年度収支差額			△ 380,646	△ 796,541	415,894
前年度繰越収支差額			△ 5,536,811	△ 5,273,274	△ 263,537
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 5,917,457	△ 6,069,814	152,357
(参考)					
事業活動収入計			10,964,988	10,596,738	368,249
事業活動支出計			11,158,794	11,120,874	37,920

※2021年3月時点のものであり、その後補正によって変更が生じる場合がある。

※単位を千円未満四捨五入としているため合計額と一致しない場合がある。

表3. 中期計画予算

(単位：千円)

部門等	予算配分項目	事業内容	予算額
大学・短期大学	I-1. 学生確保	志願者数・受験者数増加へ向けたオープンキャンパスの充実	1,500
		志願者数・受験者数増加へ向けた広報活動の充実	650
	I-2. 教育の質	国際学部GSEプログラム充実のためのTOEIC Writing試験の導入	444
		国際学部GSEプログラム充実のためのTAの充実	336
		新教養教育構築のための情報教育講座の運営	1,000
		課題解決型アクティブラーニング授業の導入支援	3,497
	I-3. 学生生活	給付型奨学金の拡充	5,000
		交換留学生をはじめとした留学生等の受入れ環境整備	6,000
	I-4. 学修支援・授業支援	授業支援体制充実のための授業相談ツール導入	1,375
	I-5. 就業力	SPI3対策講座及び模擬試験実施等による就職支援の充実	2,814
OG向けアンケート及び自己理解支援ツール受検の実施		9,968	
中学高等学校	II-1. 生徒確保	中学インタラクティブ入試の充実	650
	II-2. 教育の質	英語ライティング、スピーキング指導の充実	200
		各教科指導力の向上、教員ループリック研修の実施	407
		企業インターンの充実	275
		ICT教育の充実	20,056
II-4. 進路	進学実績向上のためのオンライン学習ツールの導入	2,112	
第二中学校高等学校	III-2. 教育の質	英語教育充実のための教員研修の実施	360
		英語教育充実のためのMLSメソッド研修の実施	600
学園	V-1. 財政	募金活動の充実	1,000
	V-2. 人事	新人事、新給与制度の構築	1,500
		新職員採用計画の策定	850
		FD・SD研修の充実	600
		新勤務管理システムの導入	5,000
	V-3. 施設設備	法人系システムの再構築	30,000
V-4. 桜友会・地域等との連携	ホームカミングデイの実施	700	
総計			96,893

※単位を千円未満四捨五入としているため合計額と一致しない場合がある。

女性の自立と自活  
共立女子学園



学校法人 **共立女子学園**  
KYORITSU WOMEN'S EDUCATIONAL INSTITUTION

〒101-8437  
東京都千代田区一ツ橋 2-2-1